

## 第4回 市立特別支援学校検討委員会

- 日 時：平成23年12月13日 午後7時から
- 場 所：魚沼サンティックスクール
- 出席委員：16名
- 傍聴者：1名
- 事務局：南雲教育部長 隅谷学校教育課長 内山指導主事 大塚主幹  
中澤塩沢給食センター長 渡辺障がい福祉係長 金井主事 野澤設計士

### 議 事

#### ○開会

**課長** 今日は図面と日中一時支援の資料に基づいて説明させていただく。その前に部長から挨拶を。

**部長** 今回の議会では市立特別支援学校について非常に多くの質問が出た。多くの皆さんが興味を持つことは非常に良いことだと思う。開校までにグラウンドを間に合わせるべきだという意見に対して、年次計画で進めて行くと市長が返答した。また、就労支援だけでいいのかという質問もあったが、そうではなく既存の特別支援学校の機能の他に就労支援に力を入れている、トータル的に良い学校を作りたいという説明を教育長がした。以上のことを報告させていただく。今日、体育館の設計について公告をした。12月22日に入札を行い、次回の会議には図面を持ってくる。日中一時支援の叩き台の図面を今日検討してもらい、入札で決まった設計事務所に資料を渡したいと思う。今日はまず、今まで検討してきた校舎の図面について新たに変わった部分を設計士が説明を行う。課長の進行のもとに進めて行く。

**課長** まずは図面についての説明を行う。

**設計士** まずは1枚目の図面について。体育館を配置図に入れているが、市のほうでこういう形の中でレイアウトしたいということで配置図に入れた。2枚目以降の図面、教室棟1階部分について、構造のチェックによっては入り口部分の壁をやぶれないということがありうると前々から話していたがその通りにやぶれない部分が出てきた。だが、悪くなったというよりもおさまりがよくなったように感じている。壁がやぶれなかったためスロープで降りる渡り廊下の部分が1スパン保健室側に伸びた。その結果保健室が少し小さくなったことをご了承願いたい。以前の計画で別の場所にあったときよりは広がっているし問題ないかと思う。教室棟2階について、中学部1年の入口を予定していた壁がやぶれないことがわかったため、読書スペースの向かい側に中学部一年と個別指導室の入口を配置

した。今までよりも中学部のスペースが広がった。教材スペースを予定していた場所の壁がやぶれないことがわかったので、女子トイレを広くすることにした。これについては3階についても同様にした。以前、男子トイレの便器を一つ女子トイレからも入れるようにという話があったが、女子トイレの便器が増えて広がったのでそうする必要がなくなった。教室棟3階について、トイレ横の更衣室の隣は教室の予定だったが窓が無い部屋のために教室とすることができなかったので教材倉庫とした。変わった部分は今説明した部分で全てとなる。

**課長** 今まででは中学部が2階、高等部が3階だったが、中学部と高等部1年が2階、高等部2、3年が3階となった。それも含めて、図面を見て気付いた点があれば意見を出してほしい。

**委員** 階段の防火扉について、扉を開けた状態にすると三角のスペースができています。閉じ込められたという事故がないように、そのスペースはつぶして人が入れないようにしてほしい。3階左側の屋上のフェンスについて、雪が積もると子どもがフェンスを乗り越えられる可能性があるため、フェンスを上までまわして籠状にできれば安心できる。ただ、イメージが悪くないように素敵な作り方にしてほしい。階段室について、吹きさらしを創造していたが図面を見ると壁が入っていて良いと思う。トイレも広くて良い。2階の読書スペースと点線で仕切られたその横の空間について、用途を限定させるよりも空間を有効に使って多様な使い方ができるようにするのが一つの方法だと思う。どういう想定をしているのか。

**設計士** 読書スペースについて、点線は150cmの移動式間仕切りを置くようなイメージで書いた。今言われたように用途によってはどこにでも持っていけるスタイルを想定している。下のほうの仕切りは2段になっているが、それは防火シャッターが下りたときに逃げられるように読書スペース側に逃げられるようにしたため。固定式にもしようと思ったが、用途の問題もあるので移動式のものか、本棚を間仕切り代わりに使おうと考えた。屋上のフェンスについて、人が上られる屋上についているフェンスのイメージで図面に書いた。

**委員** 外側だけでなく壁側にもフェンスの基礎があるので、屋上の上側を囲うようにするつもりなのかと思った。特別支援学校である、何がおこるかわからない、雪が積もった時はフェンスを越えられる、ということを考えるとそうするといいのかなと思う。

**部長** 壁側にフェンスはいらないのではないかと。安全面から見ても不要だと思う。

**設計士** そこはどちらでもよいと思う。教室の窓には窓の下から 50cm くらいまで格子をつけようかと思っている。長岡市立養護学校は廊下の窓も全部そうだったので付けたほうが良いかと思っている。

**委員** 手すりは必要だが、あきらかに鉄格子のようなものは良くないので意匠が良いものにしてほしい。

**部長** 窓の手すりは大事なものなので皆さんが必要だというのであれば付ける。ただ、イメージが悪くならないようになんとかしたい。

**設計士** 私が今まで考えていたのは、サッシと同じようにシルバーのアルミで付けられればいいかなと思っていた。ただ、木でつけることもできるのだが力のかかりかたで材料として危ないのかもしれない。

**委員** 私は既製品でいいと思う。ものすごく強固ではなくていい。頭がすりぬけるようではよくないが、学校なのだから危ないということを教える人がいるという前提で、それでも目を離した時、落下を防いでくれればいい。格子を突き破って落ちるようなことは学校の中ではありえないと思うし、美しく、違和感なくとりつけられるものにしてほしい。こういうものがあるからと提案してもらえれば皆さんで検討できるのでそうしてほしい。

**部長** 小出特別支援学校にもついているのか。

**委員** 一階にもついています。

**設計士** 一階にもつけたほうがいいのか。

**委員** あったほうがいいと思う。

**設計士** サッシの内側につけるので、形やピッチも加工できる。

**委員** 内側につける理由はあるのか。

**設計士** 汚れや傷みが少ないのと、取り付け取り外しが楽であること。それと外につけると一階は雪囲いと干渉する。

**委員** てんかんの子が倒れた時に頭をぶついたりするのが怖い。外がいいと思う。

設計士 外がいいというのであれば外につける。

課長 では外の方向で。

委員 高等部3年教室入り口のところにスロープと書いてある。今回は無かったと思うが、これはなんなのか。

設計士 今回はスロープと書かずに線だけ書いてあった。この部屋は現在 OA フロアになっていて高床になっている。良い床なのでその高床を剥いでしまうよりはそのまま使えばと思って、高床分を上げるためのスロープとした。一階にも高床の部屋があるのだが、一階は木でなくコンクリートの部屋なため綺麗にできないので高床を剥ぐことにした。

課長 他に何かある方は。

設計士 非常階段のことだが、非常階段が必要な建物だと非常階段に外壁をつけられないのだが、地域振興局との打ち合わせだと法令的には非常階段がいない建物だということ図面には（任意）と書いた。非常階段がいない建物だけでも任意でつけていますという意味。今のところ大丈夫だと思うのだが、確認申請で非常階段が必要な建物だということになると、外壁はとらないといけない。

委員 壁はあってほしい。いろんな子どもがいるなかで、ここにくると気持ちを落ち着かせられる場所として見つける可能性もあるし、そうすると壁に囲まれた階段室には非常に価値が出てくる。

委員 最初のころに質問した小中学部重複学級の教室が一つところで、間を仕切って二つに分けると言う話だったがこの図面では入口が一つしか無いようだがどのように考えているのか。人数が少なくても重複学級の教育課程はかなり違うものがあるのでできれば教室は別々にしてほしい。今すぐには無理でも将来的に考えてほしい。

設計士 今の入口を利用すると考えると入口は一つになる。

委員 もうひとつできないものか。

設計士 構造上難しい。

内山 入口は一つでも、分ける必要がある時にはアコーディオンカーテンで分ける形。

委員 その場合水盤はどうなるのか。

設計士 二つつけても問題ない。

委員 水盤は必ず必要なものなのでお願いしたい。

部長 わかりました。

課長 他に何かありませんか。

委員 渡り廊下について。車いすで管理棟から教室棟一階には行けるが、教室棟二階には行けないということでいいか。

設計士 はい。

委員 教室棟二階にもスロープで行けるようにすることはできないか。

設計士 無理だ。何度か検討はしてみたが、勾配の問題がありスペース的に不可能だった。

委員 正面玄関に車寄せやカーポートみたいなものを付ける予定はあるのか。

設計士 車寄せは無い。現在車いす用のスロープがあるところに屋根をつける予定。もし車寄せをつけるとなれば、現在身体障がい者用の駐車場のあたりまで柱を立てて屋根を伸ばさないといけない。

委員 それは可能なのか。

部長 可能か可能でないかで言えば、金にかかるし雪の問題が出てくるができないことは無い。

委員 現在の小出特別支援学校の玄関は使いにくい。危険だと思う。通り抜けができるものが良いと思う。

部長 スロープの近くで降りてもらって、速やかに屋根の下に入ってもらいたい。

**委員** 車いすだと速やかにできないのではないか。屋根をスロープのところだけではなくもう少し張り出してもらるか、スロープの位置を変えてもらいたい。

**設計士** それならば体育館のほうに車寄せをつけてそちらから入ってもらう方が機能的かもしれない。

**委員** スロープの向きを変えて、なんとかならないか。

**部長** かなりの延長になってしまう。現在せっかくあるスロープを活かしたい。

**課長** 今ここで、できる、できないと判断しにくい。雪のことを考えると構造的なことを考えなければいけない。検討させてほしい。

**課長** 気付いた点はまた後ほど。ここで日中一時支援のことについて説明させていただきたい。

**障がい福祉係長** 図面を見てもらいたい。体育館が30m×15mで二階に体育館で一階に日中一時支援のスペースということで考えさせてもらった。中の詳細はまきはたの里のほうで検討してもらった。そこはあとでまきはたの里から説明してもらおう。考え方としては、学校の玄関とは別に日中一時支援のための玄関を作ること。夏休み等の長期休暇の時に学校からいちいち入らなくていいように考えてある。図面は縮尺が違っているが、体育館の半分くらいのスペースはある。それでも思っていたよりはずいぶん大きい。日中一時支援のスペースについての要望も書いてある。送迎専用の駐車スペースが必要、独立の玄関が必要、玄関の中と外にスロープが必要、一階から二階に簡単に上がれる階段がほしい、など。細かいことをまきはたの里から説明してもらおう。

**まきはたの里** 図面について説明させてもらう。まず預かりスペース以外についての要望だが、保護者の方に連れてきてもらって迎えに来てもらうというのを基本として、送迎が必要な方を7人乗りくらいの車で送迎していくという形を考えている。その関係上、玄関の近くに事業者用の駐車場がほしい。日中一時支援用の独立した玄関がほしい。体育館への通路について、体育館を学校の昼休みのように開放してほしいがスタッフの配置は考えていないので責任の所在がどうなるのかが難しい。次に預かりスペースについての要望だが、自由に書かせてもらっているがこちらにも予算の都合があるのであまりお金がかかるようであればこの限りではない。床暖房があるといいが、維持管理にあまりかかるようであれば困るし、クッション性のあるフローリングスペースがほしいがあまりに高いようでは困る。角は面取りしてほしい。収納スペースは工夫して充実させてほしい。确实にお願

いしたいのはガラスを強化ガラスにしてほしいということ。まきはたの里は強化ガラスだが、今まで1枚も割れたことが無い。軟式野球のボールが当たっても割れない。そうなるかと保護者の方も安心なのではないか。現在スタッフの配置が未定だが、少人数で多くのお子さんを一時的に見なければいけないことが予想されるため、出入りにカギとインターホンがほしい。図面の中身を説明する。どれくらいのお子さんがくるかによるが、20名くらいを預かったときにこれくらいのスペースが必要になるのではないかと想定で書いてある。畳のスペースが小上がりになっているのは、高いところにくると落ち着く方がいたりするのでこのくらいのスペースがほしいため。またそこから落下した場合に落ちた先がカーペットであれば比較的安心だ。何か作ったりするので簡易的でもいいので台所がほしい。トイレは見てもらった通り。入口に関しては相談の限りはこだわりが無い。事業所の好きなように書かせてもらったが、ご意見いただきたい。

**部長** 作業の流れとしては設計事務所が22日に決まったら、まきはたの里と打ち合わせをしてもらう。そこで叩き台の図面を書いて皆さんにお見せする。なので今この図面で何かいっても、ということになるので、これでまきはたの里の意気込みを確認してもらい、次回に叩き台の図面を見てもらうということでご了承いただきたい。

**障がい福祉係長** 日中一時支援用の玄関を別に作るかどうかだけでも確認したいのだが。

**部長** 玄関を別にしないとしたらどうなるのか。

**障がい福祉係長** 正面玄関から入って渡り廊下を通して移動することになる。

**部長** そうなると大変なので別に作りたい。

**障がい福祉係長** 別にすると学校との行き来は外を通ることになる。

**部長** 別にしないで中を通るとしても、エレベーターをつけたりするのはかなり難しいし、玄関を共用にすることは考えていなかった。

**委員** 夕方の一時支援に行く時には学校から直接は入れないということか。

**障がい福祉係長** 二階で繋がっているだけで一階では繋がっていないので行けない。

**委員** 一回学校を出て一時支援に入ることになるのか。

障がい福祉係長 そう。魚沼学園に行くような感じで。

部長 それがまずいというのなら考えるが、そういうイメージだった。

委員 日中一時支援は特別支援学校の生徒だけではなく一般の方も利用するのですよね

部長 そうなる。

委員 それだと学校の玄関から出入りするのに問題があるかもしれない。

委員 両方から出入りできればいい。

部長 ではそう考えてみる。

設計士 一階は構造上廊下の幅がとれない。特別支援学校として使う廊下は二階のみで、一階の廊下は特別支援学校としての使い方ではない、としたうえでならできる。

部長 その辺もふくめて、設計事務所が決まったら障がい福祉係長とまきはたの里と相談して叩き台の図面を作るといふことでどうだろうか。ただ、日中一時支援ができるのかによって特別支援学校に来られるかどうかが決まるために心配して傍聴に来た方もいる。

課長 ほぼ、日中一時支援は運営していただけるのではないかと思う。位置関係については次回に図面で見てもらう。

委員 日中一時支援は、長期の休みの時もこのスペースで見ることになるのか。

まきはたの里 そのように考えている。まきはたの里のほうだと送迎が大変であったりするしこちらでやったほうが、メリットが多いのではないか。まだまったく決まった話ではないが、長期休みに人手が足りなくなった時に学校の介助員の皆さんに来てもらえれば人手不足は解消されるし子どもたちから見てもいつもの先生がいて安心できるしいいのかなと思っていた。

委員 そうなると、昼食や給食はどうなるのか。まきはたの里だと、長期休みは昼食を出してもらえてとても助かっている。

障がい福祉係長 こちらのほうだと食事を出すのは難しいと思う。ただ、まきはたの里の



日中一時支援をやめるわけではないので、送迎や食事等の条件によって使い分けていただければいいかなと考えている。

**まきはたの里** 今のまきはたのほうがよかった、合っているというお子さんもいるので難しいところ。学業に身が入らないくらいパニックになってしまっても困るし。そのへんが難しい。

**障がい福祉係長** 宅配弁当を出すくらいはできるだろうが、きざみ食までは難しいだろう。

**まきはたの里** 介助員がいればいつもの形ということでできるかもしれないが。あと、お風呂が無いのも違う。

**課長** かなり具体的な話になってきたが、もう少しこちらで詰めさせてもらいたいと思う。

**委員** 黒板について問い合わせがあったので、小出特別支援学校小中高の先生にホワイトボードがいいか黒板がいいかアンケートをとった。その結果について話させていただきたい。小学部重複学級では、掲示板として使うことが多いのでどちらでも良いとのことだった。小学部普通学級では普通の黒板のほうが良いとのことだった。中学部は重複学級はホワイトが良いとのことだったが、あとは普通の黒板がいいというのが半分、どちらでも良いというのが半分だった。高等部では、重複学級はやはりホワイトボードがいいということで、普通学級は二つの学年は普通の黒板、一つの学年はホワイトボードが良いということだった。

**課長** 普通学級は普通の黒板、重複学級はホワイトボードが良いということでよいか。

**内山** 重複学級はホワイトボードを基本として移動式の黒板を用意する。普通学級は普通の黒板を基本として移動式のホワイトボードを用意する。ということでどうか。

**委員** 黒板の高さの話も出たのだが、可動式の黒板は難しいだろうか。

**設計士** 今ものすごくいい曲面黒板がついているのだが。

**課長** 黒板は今ついているものは極力使わせてもらい、不足の分は移動式のを備品としてそろえるということでまとめた。

**委員** デジタル教科書等の新しい技術が教育現場にも入ってきている。もしかしたら、黒板のほかにディスプレイといったものが必要になってくるのかもしれない。将来、そういうふうに変わっていくことも考えながら投機していかなければいけないのではないかと思った。

**部長** 保護者の皆さんには極力相談していきたいと思うが、教育理念や学校運営については教師主導で叩き台を出していきたいと考えている。

**委員** 今の不安は、近隣の方のこと。近隣住民への説明会に参加させてもらったが、参加者が少なかった。参加者の方は意見をいってくれたので良かったのだが、その後どうなったか。

**部長** 説明会の内容やこれまでの経過、特別支援学校への視察を望まれる方への連絡先を記載したチラシを近隣 200 戸弱のご家庭に配布した。良かったのか悪かったのか反応はなかった。ご心配はあるのだろうが、各所で話を聞く限り想像以上に特別支援学校への理解はあると感じている。

**委員** これだけ密集しているところから 100 人いて 100 人全員賛成とはいかないと思う。説明会の時も、学校の外にもれる音はどうするのかとの質問があった。学校ができてから、やっぱりね、などと言われたりすると先生方や子どもたちが嫌な思いをすと思う。それが嫌だなと思っている。

**部長** 色々な価値観の人がいるので、嫌がる人もいるかもしれないが私はかなり少ないと思う。特別支援学校以外でも運動会もあるし放送もある。実際、今サンティックでも放送を流している。また、会議の経過はウェブサイト等で詳細に流しているし、近隣住民の方には説明会の案内を出し、会の内容も配布している。反応が無かったことは若干心配ではあるがそう苦情が多くでることは無いと思うし、できたあとに苦情が出て教育委員会が体を張って皆さんに嫌な思いをさせないようにしていく。また、新潟日報に大きな記事も出してもらった。行政としては様々な手で情報を公開している。

**課長** 北辰小学校でも六日町小学校でも近隣に住宅がある。ただ、前から学校があったのと新しくできるという違いがある。苦情が出るのがまったく無いとは言えないが、そういうときにはお宅に伺うなどして話をしながらご理解をいただくしかないと考えている。

○次回の日程

日 時：1月24日（火曜日）19：00～

場 所：サンティックスクール

閉会（20：45）